



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成27年10月29日

上場会社名 旭硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5201 URL <http://www.agc.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 島村 琢哉
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 小林 純一 (TEL) 03-3218-5603
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前 四半期利益		四半期 純利益		親会社の所有者に 帰属する四半期純利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	989,598	△0.5	51,014	20.1	70,259	162.8	44,604	282.7	42,745	407.7	△15,131	—
26年12月期第3四半期	994,194	2.3	42,462	△28.9	26,738	△28.8	11,654	△45.5	8,418	△57.1	15,142	△89.5

	基本的1株当たり 四半期純利益	希薄化後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	36.98	36.83
26年12月期第3四半期	7.28	7.24

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	1,975,241	1,145,217	1,079,027	54.6
26年12月期	2,077,338	1,180,490	1,113,126	53.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	9.00	—	9.00	18.00
27年12月期	—	9.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に帰 属する当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,355,000	0.5	70,000	12.7	73,000	77.3	45,000	119.8	40,000	151.4	34.61

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期3Q	1,186,705,905株	26年12月期	1,186,705,905株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	30,667,994株	26年12月期	30,863,312株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期3Q	1,155,926,860株	26年12月期3Q	1,155,791,704株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足資料を作成しており、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(要約四半期連結純損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(要約四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11
(その他収益及びその他費用)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①2015年12月期第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（2015年1月1日から2015年9月30日まで）における当社及び関係会社（以下、当社グループという）を取り巻く世界経済は、緩やかな景気回復が続きました。日本においては、このところ一部に弱さも見られるものの、政府の経済政策等により、景気は緩やかな回復基調が継続しています。欧州の景気は引き続き緩やかに回復し、米国でも個人消費が増加するなど、景気回復が続いています。中国をはじめとする新興国においては、成長鈍化が見られました。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、円安などの増収要因があったものの、ディスプレイ事業が減収となったことなどから、前第3四半期連結累計期間比46億円（0.5%）減の9,896億円となりました。営業利益は、欧州並びに北米における建築用ガラス事業の構造改革効果、原燃材料価格の下落などにより、同86億円（20.1%）増の510億円となりました。税引前四半期利益は、退職後給付制度改定益などの計上により、同435億円（162.8%）増の703億円、親会社の所有者に帰属する四半期純利益は同343億円（407.7%）増の427億円となりました。

②2015年12月期第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況

○ガラス

建築用ガラスの出荷は、日本・アジアでは、日本の消費税増税による駆け込み需要の反動などで減少しました。北米では引き続き堅調に推移し、欧州においては、西中欧は増加したものの、東欧は経済環境悪化の影響を受け減少しました。この結果、建築用ガラスは前年同期に比べ減収となりました。

自動車用ガラスは、日本・アジアの一部の国や東欧などで自動車生産台数は減少したものの、西欧の回復や北米の堅調な需要に加え円安の効果もあり、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間のガラスの売上高は前第3四半期連結累計期間比60億円（1.2%）増の5,148億円となりました。営業利益については、欧州及び北米建築用ガラス事業の構造改革施策の効果並びに原燃材料価格下落等により同82億円改善し、77億円となりました。

○電子

液晶用ガラス基板は堅調な需要に支えられ、出荷は前年同期に比べ増加したものの、販売価格は前年同期に比べ下落しました。ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は前年同期に比べ増加しました。プラズマ・ディスプレイ・パネル関連製品の出荷は主要顧客の事業撤退により前年第3四半期で終了しました。電子部材の出荷はオプトエレクトロニクス用部材、半導体プロセス用部材ともに前年同期に比べ増加しました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間の電子の売上高は前第3四半期連結累計期間比188億円（7.9%）減の2,198億円となりました。営業利益は同13億円（4.9%）減の254億円となりました。

○化学品

クローラルカリ・ウレタンは、出荷が堅調に推移し、また円安になったことから、前年同期に比べ増収となりました。フッ素・スペシャリティは、一部製品の出荷が減少したものの、円安の影響もあり売上高はほぼ前年同期並みとなりました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間の化学品の売上高は前第3四半期連結累計期間比68億円（2.9%）増の2,365億円、営業利益は同39億円（24.8%）増の196億円となりました。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、装飾ガラス、建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、防災・防犯ガラス、防・耐火ガラス等）、自動車用ガラス等
電子	液晶用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、半導体プロセス用部材、オプトエレクトロニクス用部材、照明用製品、理化学用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、フッ素樹脂、撥水撥油剤、ガス、溶剤、医薬農薬中間体・原体、ヨウ素製品等

上記製品の他、当社は、セラミックス製品、物流・金融サービス等も扱っています。

(2) 財政状態に関する説明

○資産

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比1,021億円減の19,752億円となりました。これは主に、前期末比で円高になったことにより為替換算後の有形固定資産が減少したことによるものであります。

○負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比668億円減の8,300億円となりました。これは主に、確定給付企業年金制度改定により退職給付に係る負債が減少したことによるものであります。

○資本

当第3四半期連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末比353億円減の11,452億円となりました。これは主に、四半期純利益の計上によって利益剰余金が増加したものの、前期末比で円高になったことにより在外営業活動体の換算差額が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(億円：千万単位四捨五入)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期純利益	親会社の所有者に 帰属する 当期純利益
当期 (2015年12月期)	13,550	700	730	450	400
前期 (2014年12月期)	13,483	621	412	205	159
増減率 (%)	0.5	12.7	77.3	119.8	151.4

2015年の世界経済は、緩やかな成長を持続することが見込まれます。

このような環境の下、建築用ガラスの出荷は、東欧で低迷する懸念があるものの、全体としては増加する見込みです。更に、欧州や北米での構造改革施策の効果及び原燃材料価格下落による業績改善を見込んでいます。自動車用ガラスは、一部の地域で自動車需要に減速感が見られるものの、全体としては堅調に推移することが見込まれます。

液晶用ガラス基板の出荷は、第4四半期に顧客における生産調整の影響を受ける可能性があるものの、通期では前年に比べ増加する見通しです。販売価格下落の影響は懸念されるものの、下落幅は前期に比べ縮小する見込みです。ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は堅調に推移する見込みです。電子部材の出荷はオプトエレクトロニクス用部材、半導体プロセス用部材ともに堅調に推移する見通しです。

化学品関連製品の出荷については、クロール・アルカリ製品及びフッ素関連製品が堅調に推移する見込みです。

以上を踏まえて、当社グループの2015年通期の売上高は前期比67億円(0.5%)増の13,550億円、営業利益は前期比79億円(12.7%)増の700億円、税引前利益は前期比318億円(77.3%)増の730億円、親会社の所有者に帰属する当期純利益は前期比241億円(151.4%)増の400億円を予想しています。なお、2015年通期の期中平均為替レートは、対米ドル円為替レートを120円、対ユーロ円為替レートを135円と想定しています。

《見通しに関する留意事項》

前述の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみで全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、当連結会計年度より、以下の基準書をそれぞれの経過措置に準拠して適用しております。これらの基準書の適用が、当社グループの要約四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IFRS第9号	金融商品：ヘッジ会計	ヘッジ会計の改訂
IAS第19号	従業員給付	勤務年数と関係しない従業員又は第三者による拠出の会計処理の明確化

要約四半期連結純損益計算書における「営業利益」は、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する指標であります。「その他収益」及び「その他費用」の主な内訳には、為替差損益、固定資産売却益、固定資産除却損、減損損失、事業構造改善費用などがあります。「事業利益」には、金融収益・費用及び法人所得税費用を除いたすべての収益・費用が含まれております。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2014年12月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2015年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	69,655	70,285
営業債権	262,091	246,867
棚卸資産	239,497	243,129
その他の債権	37,036	29,414
未収法人所得税	7,607	4,200
その他の流動資産	11,289	17,463
流動資産合計	627,178	611,360
非流動資産		
有形固定資産	1,066,193	993,515
のれん	36,269	38,286
無形資産	25,844	23,951
持分法で会計処理されている投資	44,184	46,513
その他の金融資産	236,057	221,300
繰延税金資産	35,804	34,480
その他の非流動資産	5,805	5,833
非流動資産合計	1,450,159	1,363,880
資産合計	2,077,338	1,975,241
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	131,147	123,532
短期有利子負債	63,694	48,083
1年内返済予定の長期有利子負債	33,508	53,349
その他の債務	103,621	101,128
未払法人所得税	5,775	9,611
引当金	3,779	1,609
その他の流動負債	14,472	15,392
流動負債合計	355,999	352,707
非流動負債		
長期有利子負債	402,054	378,801
繰延税金負債	21,145	16,419
退職給付に係る負債	99,687	65,440
引当金	12,554	10,900
その他の非流動負債	5,405	5,752
非流動負債合計	540,847	477,315
負債合計	896,847	830,023
資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	100,670	100,794
利益剰余金	641,866	663,733
自己株式	△29,784	△29,584
その他の資本の構成要素	309,501	253,210
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,113,126	1,079,027
非支配持分	67,364	66,189
資本合計	1,180,490	1,145,217
負債及び資本合計	2,077,338	1,975,241

(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結純損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)
売上高	994,194	989,598
売上原価	△748,725	△742,614
売上総利益	245,468	246,983
販売費及び一般管理費	△204,321	△197,780
持分法による投資利益	1,314	1,811
営業利益	42,462	51,014
その他収益	6,051	39,704
その他費用	△18,291	△19,083
事業利益	30,223	71,635
金融収益	3,429	3,898
金融費用	△6,914	△5,274
金融収益・費用合計	△3,484	△1,376
税引前四半期利益	26,738	70,259
法人所得税費用	△15,083	△25,655
四半期純利益	11,654	44,604
親会社の所有者に帰属する四半期純利益	8,418	42,745
非支配持分に帰属する四半期純利益	3,236	1,859
1株当たり四半期純利益		
基本的1株当たり四半期純利益(円)	7.28	36.98
希薄化後1株当たり四半期純利益(円)	7.24	36.83

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)
四半期純利益	11,654	44,604
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付負債(資産)の純額の再測定	2,424	△2,006
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△7,182	△3,334
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	31	△4
純損益に振り替えられることのない項目合計	△4,726	△5,346
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	50	△497
在外営業活動体の換算差額	8,140	△53,935
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	23	43
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	8,214	△54,389
その他の包括利益(税引後)合計	3,488	△59,736
四半期包括利益合計	15,142	△15,131
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	11,331	△13,543
非支配持分に帰属する四半期包括利益	3,811	△1,588

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	100,650	641,740	△29,884	△25,940	90,441
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	8,418	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	2,588	△7,177
四半期包括利益合計	—	—	8,418	—	2,588	△7,177
所有者との取引額等						
配当	—	—	△16,181	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△19	—	—
自己株式の処分	—	—	△38	110	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△166	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	417	—	—	△417
株式報酬取引	—	165	—	—	—	—
その他企業結合等	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△1	△15,802	91	—	△417
期末残高	90,873	100,648	634,356	△29,792	△23,351	82,846

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額の純変動	合計					
期首残高	△69	219,403	283,835	1,087,216	57,929	1,145,145		
当期変動額								
四半期包括利益								
四半期純利益	—	—	—	8,418	3,236	11,654		
その他の包括利益	73	7,428	2,913	2,913	575	3,488		
四半期包括利益合計	73	7,428	2,913	11,331	3,811	15,142		
所有者との取引額等								
配当	—	—	—	△16,181	△650	△16,831		
自己株式の取得	—	—	—	△19	—	△19		
自己株式の処分	—	—	—	72	—	72		
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△166	△789	△956		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△417	—	—	—		
株式報酬取引	—	—	—	165	—	165		
その他企業結合等	—	—	—	—	2,830	2,830		
所有者との取引額等合計	—	—	△417	△16,130	1,390	△14,739		
期末残高	4	226,832	286,331	1,082,417	63,131	1,145,548		

当第3四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債 (資産)の純 額の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産の純変動
期首残高	90,873	100,670	641,866	△29,784	△40,859	86,402
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	42,745	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,289	△3,339
四半期包括利益合計	—	—	42,745	—	△2,289	△3,339
所有者との取引額等						
配当	—	—	△20,806	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△40	—	—
自己株式の処分	—	△0	△73	241	—	—
支配継続子会社に対す る持分変動	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	—	—	2	—	—	△2
株式報酬取引	—	125	—	—	—	—
その他企業結合等	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	124	△20,877	200	—	△2
期末残高	90,873	100,794	663,733	△29,584	△43,149	83,059

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の純変動	在外営業活動 体の換算差額	合計			
期首残高	△734	264,693	309,501	1,113,126	67,364	1,180,490
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	42,745	1,859	44,604
その他の包括利益	△453	△50,205	△56,288	△56,288	△3,447	△59,736
四半期包括利益合計	△453	△50,205	△56,288	△13,543	△1,588	△15,131
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△20,806	△762	△21,568
自己株式の取得	—	—	—	△40	—	△40
自己株式の処分	—	—	—	166	—	166
支配継続子会社に対す る持分変動	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△2	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	125	—	125
その他企業結合等	—	—	—	—	1,175	1,175
所有者との取引額等合計	—	—	△2	△20,555	413	△20,141
期末残高	△1,188	214,488	253,210	1,079,027	66,189	1,145,217

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	26,738	70,259
減価償却費及び償却費	102,105	103,633
受取利息及び受取配当金	△3,397	△3,812
支払利息	5,719	4,938
持分法による投資損益	△1,314	△1,811
固定資産除売却損益	1,547	△339
営業債権の増減額	13,080	11,783
棚卸資産の増減額	△7,828	△12,592
営業債務の増減額	△8,047	△4,130
その他	△6,517	△25,752
小計	122,086	142,176
利息及び配当金の受取額	3,944	4,338
利息の支払額	△4,818	△4,444
法人所得税の支払額	△22,742	△15,229
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,469	126,841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△76,317	△96,925
有形固定資産の売却による収入	6,277	8,259
その他の金融資産の取得による支出	△1,370	△877
その他の金融資産の売却及び償還による収入	1,209	1,504
その他	△1,883	△7,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,085	△95,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の増減	△11,048	△14,945
長期有利子負債の借入及び発行による収入	36,316	29,436
長期有利子負債の返済及び償還による支出	△71,761	△22,364
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△956	—
自己株式の取得による支出	△19	△40
配当金の支払額	△16,181	△20,806
その他	1,688	△306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,961	△29,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,401	△1,672
現金及び現金同等物の増減額	△33,176	630
現金及び現金同等物の期首残高	132,649	69,655
現金及び現金同等物の四半期末残高	99,473	70,285

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別に「ガラス」、「電子」及び「化学品」の3カンパニーを置き、各カンパニーは、取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、グローバルに事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、「ガラス」、「電子」及び「化学品」の3つを報告セグメントとしております。

なお、従来「ガラス」に含めていた産業用加工ガラス、ソーラー用ガラスの一部について、会社組織の変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、「電子」に報告セグメントを変更しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

各報告セグメントに属する主要な製品の種類は、以下のとおりです。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、装飾ガラス、建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、防災・防犯ガラス、防・耐火ガラス等）、自動車用ガラス等
電子	液晶用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、半導体プロセス用部材、オプトエレクトロニクス用部材、照明用製品、理化学用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、フッ素樹脂、撥水撥油剤、ガス、溶剤、医農薬中間体・原体、ヨウ素製品等

I 前第3四半期連結累計期間（自 2014年1月1日 至 2014年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	507,446	236,656	227,847	22,244	994,194	—	994,194
セグメント間の売上高	1,349	1,939	1,890	38,022	43,200	△43,200	—
計	508,795	238,595	229,738	60,267	1,037,394	△43,200	994,194
セグメント利益又は損失 (営業利益)	△469	26,705	15,690	365	42,291	170	42,462
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	11,654

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2015年1月1日至2015年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	513,883	218,727	234,362	22,625	989,598	—	989,598
セグメント間の売上高	884	1,110	2,140	25,108	29,244	△29,244	—
計	514,767	219,838	236,502	47,733	1,018,842	△29,244	989,598
セグメント利益又は損失(営業利益)	7,702	25,398	19,575	△1,832	50,843	170	51,014
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	44,604

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

(その他収益及びその他費用)

その他収益

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2014年1月1日 至2014年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2015年1月1日 至2015年9月30日)
為替差益	2,176	—
固定資産売却益	1,939	2,207
退職後給付制度改定益	—	36,071
その他	1,935	1,425
その他収益合計	6,051	39,704

当社は、2015年4月21日付で確定給付企業年金制度を改定するとともに、確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度に移行したことに伴い、当第2四半期連結会計期間に「退職後給付制度改定益」として計上しております。

その他費用

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2014年1月1日 至2014年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2015年1月1日 至2015年9月30日)
為替差損	—	△3,459
固定資産除却損	△3,486	△1,867
減損損失	—	△818
事業構造改善費用	△12,059	△11,281
その他	△2,744	△1,656
その他費用合計	△18,291	△19,083

(重要な後発事象)

該当事項はありません。